

2005年度決算概要説明

2006年5月16日

アステラス製薬株式会社

執行役員 財務経理本部長 永井 修



決算概況

	04	05	増減	05 公表	05年度のポイント
売上高	8,620	8,793	+173	8,850	先行送品-238、販売移管-71 事業整理-88、加工売上-67 ゼファーマ+118
売上原価 売上高比率(%)	2,793 32.4	2,729 31.0	-63 -1.4ppt		製品構成 0.5ポイントの改善 原価低減 0.7ポイントの改善 加工売上 0.4ポイントの改善
売上総利益	5,826	6,063	+236		売上の増加 原価率の改善
販売管理費 売上高比率(%)	2,628 30.5	2,712 30.8	+84 +0.3ppt		日本は人件費、販促費を中心に減少 欧米は販売促進費を中心に増加
研究開発費 売上高比率(%)	1,276 14.8	1,420 16.2	+144 +1.4ppt	1,350 (15.3)	ライセンス費用の増加(+220) 合併効果による経費活用の効率化
営業利益 売上高比率(%)	1,922 22.3	1,930 22.0	+7 -0.3ppt	2,050 (23.2)	

為替： 1ドル=113円(前期108円)、1ユーロ=138円(前期135円)

決算概況

	04	05	増減	05 公表	05年度のポイント
営業利益	1,922	1,930	+7	2,050	
営業外収益	131	148	+17		欧州子会社での為替差益39
営業外費用	111	53	-58		製品等除却損 26
経常利益	1,942	2,025	+83	2,110	営業外収支の改善
特別利益	99	78	-20		固定資産売却益 25 投資有価証券売却益 31
特別損失	889	334	-554		事業統合費用 212 減損損失 86
税引前 当期純利益	1,152	1,770	+618		経常利益の増加 特別損益の改善
当期純利益	595	1,036	+441	1,170	

(参考) 早期退職者数： 国内生産子会社（アステラス富山・アステラス静岡）225人、道修町事業場 43人

グローバル製品

	04	05	増減	05公表	05年度のポイント
プログラフ	1,228	1,459	+230	1,419	
国内	105	142	+37	137	物量伸長率30.8% (薬価ベース) 移植の増加、関節リウマチの寄与
北米	635	745	+110	730	シェア54%、処方箋シェアも好調に推移
欧州	384	434	+49	429	移植件数も増加。4月にEMEAとSPCに合意
ハルナール	1,359	1,378	+18	1,349	
国内	494	449	-45	470	物量伸長率 3.2%・シェア54% (薬価ベース) 後発品の想定シェア：8%
欧州	448	495	+46	476	06年2月に物質特許満了。05におけるTOCAS 売上比率は27%
バルク等	370	374	+3	348	米国：現地販売が好調に推移 (06/1-3：前同比123%)
プロトピック	214	144	-70	167	
国内	26	26	0	30	
北米	129	65	-63	82	総処方箋は40%弱の減少。 2006年1月に米国で添付文書を改訂
欧州	55	49	-5	53	2006年3月に欧州で添付文書を改訂

グローバル新製品

(億円)

	04	05	増減	05公表	05年度のポイント
ファンガード /マイカミン	138	152	+14	186	
国内	138	140	+2	160	シェア:50% 下期に入り、他剤との競合が激化
北米	-	12	+12	26	昨年12月に新発売時の流通在庫を解消 4月は\$2.5MM強で推移
ベシケア	27	148	+120	172	
北米	11	77	+65	100	直近のNRxシェアは9.1%、TRxは7.7% 売上・シェアとも順調に伸長
欧州	15	71	+55	72	欧州でのシェアは約15%(第2位)

国内主力製品

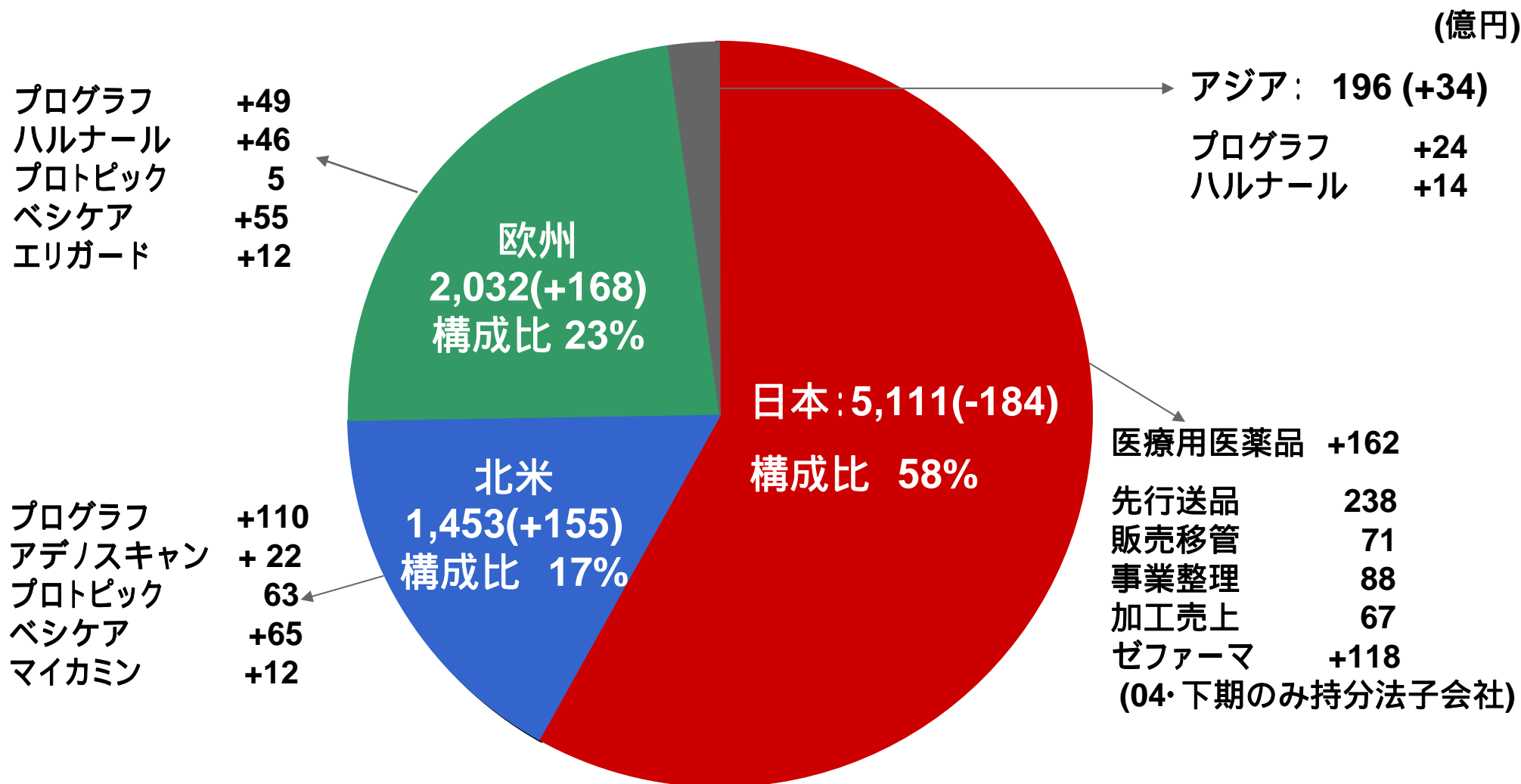
(億円)

	04	05	増減	05公表	05年度のポイント
リピトール	855	915	+59	925	シェア38.7% 物量伸長率+13.6%
ミカルディス	261	373	+111	370	シェア10.9%、 物量伸長率+58.3%
マイスリー*	133	171	+37	168	シェア27.6% 物量伸長率+20.3%
ルボックス*	87	103	+15	110	シェア8.0% 物量伸長率+10.1%
ガスター(Rx)	731	688	42	687	シェア28.8% 物量伸長率-0.6% (内服は+0.4%)
セフゾン*	177	184	+6	200	シェア19.8% 物量伸長率-10.3%
セロクエル*	131	152	+21	162	シェア15.9% 物量伸長率+14.6%

注：* 製品の04年度の実績は決算ベース。それ以外は仕切価ベース。
物量伸長率は薬価ベース。

所在地別売上高

05年度連結売上高：8,793億円(対04年度：+173億円)



所在地別営業利益

(億円)

	04	05	増減	増減要因
連結	1,922	1,930	+7	
日本	1,611	1,381	-229	売上総利益の減少 (プログラム移転価格変更を含む) 販売管理費の減少(人件費、販促費等) 研究開発費の増加(ライセンス費用)
北米	230	327	+96	売上総利益の増加 経費の増加 (新製品及び主力製品の販売促進費等)
欧州	117	183	+66	売上総利益の増加 (自社販売ビジネスの好調、 米国ベシケアの寄与) 経費の増加(新製品の販売促進費等)
アジア	23	38	+15	プログラム、ハルナールの好調
消去	-61	0	+60	

調整後ベースでの欧米での営業利益

(億円)

2005年度	セグメント	調整	調整後
欧米計	510	0	510
北 米	327	- 85	242
欧 州	183	+ 85	268

【参考:2004年度】

欧米計 347億円
北米調整後 139億円
欧州調整後 208億円

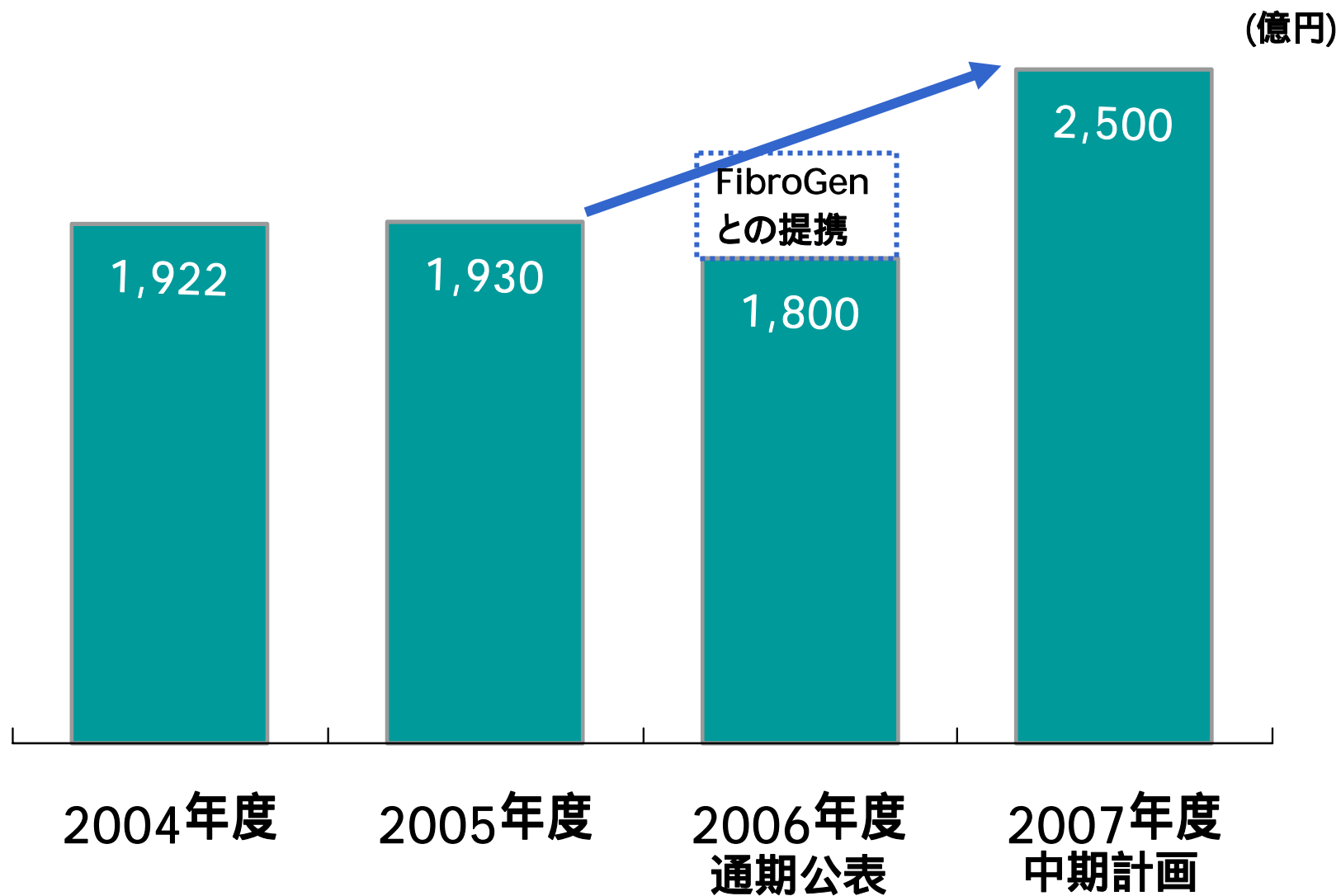
2006年度通期見通し

(億円)

	05	06予想	増減	ポイント
売上高	8,793	9,020	+226	ゼファーマ譲渡により連結から除外
研究開発費 売上高比率(%)	1,420 16.2	1,750 19.4	+330	ライセンス費用の増加(+400)
研究開発費控除前 営業利益	3,350	3,550	+200	
営業利益 売上高比率(%)	1,930 22.0	1,800 20.0	-130 -2.0	
経常利益	2,025	1,840	-185	
当期純利益	1,036	1,230	+193	ゼファーマ譲渡益 212億円

為替：1ドル=110円(前期113円)、1ユーロ=140円(前期138円)

営業利益の推移



注意事項

- 資料中の業績見通し数値及び開発見通し等は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の成果は、さまざまな要素によりこれら業績見通し、開発見通し等とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。
- 実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社既存及び新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。
- 医薬品(開発中の物を含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。